

新退教通信

No.188

2022.12.1

新潟県退職
教職員連絡協議会
☎Fax 025-281-8146

小さな希望の灯



新退教副会長

北島 理子

退職して5年、日々の楽しみの一つに、じっくり新聞を読むということがあります。しかし、この1年を振り返ってみると、蔓延する新型コロナウイルス、ロシアによるウクライナ侵攻、あらゆる物の値上げ、さらに旧統一教会と政治家との関係等々、どの頁を開いても、心が晴れず、ため息ばかりが出てしまいます。

ところが、8月も終わろうとするある日、投稿欄に懐かしい名前を見つけました。それは、40年以上も前、私が新採用の時、初めて

担任した教え子でした。3・4年合わせて10人の複式学級。彼は、4年生7人の中の一人でした。現在は53才、公務員として、地元の教育関係を担当とのことです。

彼は、地域で起きた事件をあげ、小中学校の子どもたちに、過去の悲惨な事件を知り、命の尊さへの学びを深めてほしい、と書いていました。早速、連絡を取ると

「今の仕事は、頑張り甲斐がある。自分の故郷を誇りに思える子どもを地域のみんなで育てていきたい。」

と語ってくれました。短い言葉のやりとりの中に、立派に成長した教え子の姿を感じ、まぶしさと同時に、こちらも励まされる思いでした。最後に

「今、息子が教員採用試験を受けている。」と、うれしい報告もありました。

考えてみれば、最初に担当した10人の子どもたちが、「先生」と呼んでくれた日から、私の教員生活はスタートしたのです。私が教員になったのではなく、彼らが私を「先生」にしてくれたのです。

混乱の時代、先の見えない不安に襲われる日もあります。紙面での教え子との再会が、私の心に小さな灯をともしてくれました。2023年も会員の皆様と共に新退教の灯をかがげ、一歩ずつ進んでいきたいものです。

目次

(敬称略)

1p	巻頭言	北島 理子
2p	学びの集い	伊藤 充
4p	支部から	糸魚川支部 藤田 衛
		柏刈支部 吉田 存佑
		三南支部 樋浦 貞吉
5p	新潟五泉支部	長谷川文充
	西蒲・燕支部	徳永 和子
	新教組です	本部専従 石津 真澄
		支部専従 野上 丈成
		支部専従 清水 賢志
		支部専従 大塚 貴央
6p	未来応援奨学金にいがた	高井 盛雄
7p	みんなの広場	山上オクラ
8p		山じい



写真「夕映え」
柏刈支部 小林公一さん

3年ぶりに「学びの集い」を開催!

朝から晴天にめぐまれた10月19日、新教組会館で3年ぶりに「学びの集い」が開催された。新型ウィルス対策上、人数を制限し、内容も講演のみに縮小しての開催であった。



講師は新潟青陵大学特任教授の伊藤充さん(新潟教会員)で、演題は「新潟県の女性と県民性 ―その歴史と未来―」。約80分間、たくさん文献やデータに基づいて、楽しく「目から鱗が落ちる」内容が次々に展開された。(講演要旨は次ページ)

講演後、質問タイムとなったが、すぐに質問は出なかった。すると、講師の伊藤充さんから「これを県民性から見ると」ということで次のようなお話があった。

新潟県人はあまり質問しない。それは、講

師が一生懸命にお話しくださったのに質問すると「講演はよく分からなかった」と受け取られかねないから。一方、例えば大阪人は積極的に質問しようとする。それは、講師が一生懸命にお話しくださったのに質問しないと、「講演は興味深い内容でなかった」という評価になるから…。

このお話後、会場からは多くの質問が出て、県民性についてさらに理解が深まった。

なお当日、伊藤充さんの「県民性シリーズ3部作」の書籍販売も行われた。著者割引(左記定価の2割引き)もあって好評完売となった。

『新潟県県民性の歴史』 (税込み1980円)

『新潟県県民性の人物史』 (税込み1980円)

『新潟県県民性の民俗史』 (税込み1760円)

参加者の感想



☆なるほどと思うことがたくさんあった。県民性なんて多様化の現代にあるのかと思っていたが、見事に県民性を納得できた。たぐさんの根拠が示され納得した。

☆クイズあり、マンガあり、映画まで登場して楽しく話を聞くことができた。さすが伊藤先生と感激した。聞く人を引き付けるお話で、楽しく過ごすことができた。

☆県民性についておぼろげながら思っていたことが、目から鱗が落ちるような感覚で話を聞くことができ大変満足した。書籍でぜひ深めたいと思ったら、売り切れで残念。

☆大変興味深い内容でした。時代区分ではなく、一つの視点からの通史的な見方・時間軸に立った分析は、日頃の生活・思考にも役立つと感じました。

☆新潟県の女性について、今まで以上に敬意を持つことができました。ありがとうございました。

☆県民性が育まれてきた経緯の一端に触れることができ大変よかったです。素晴らしい県民性を生かし、男性も女性も共に磨き合う社会的なライバルに、というメッセージが心に残りました。

☆最後のまとめが心に刺さりました。素晴らしい県民性は維持し、時代に合わない県民性は変えようとのこと。その通りです。日々、孫の子守りを通じて未来の新潟県人に接しているの、心していききたいです。

「講演要旨」22年度の集い

新潟県の女性と県民性

—その歴史と未来—

新潟青陵大学特任教授

伊 藤 充さん

○「県民性」は存在する

学習指導案の項目に、「子どもの実態」がある。100年以上前から現在まで、「まじめ、素直、消極的、乏しい表現力」と、書かれることは変わっていない。そのことは、新潟県の県民性が、子どもたちの中に再生産され続けていたことを意味する。

○女性と仕事の歴史

新潟県の女性は全国有数の働き者である。

「女房にするなら越後の女」、よく言われる言葉である。越後の女性は夫に尽くし、家を大切にし、しかも働き者であるという。

1996年の調査で、「働くことがつらい」と答えた女性は、わずか18%に過ぎない。これに対して男性の割合は38%である。

新潟県の女性の歴史を仕事という観点から残されている文献やデータで見つめる。

例えば、江戸時代、江戸商人が越後を旅し

た様子を綴った『虎勢道中記』がある。それには、男性に劣らず力仕事に従事する越後の女性の働きぶりは目に見張るものがあると書かれている。また、明治の文豪尾崎紅葉は、新潟を訪れたとき様子を紀行文にして「読売新聞」に連載し、『煙霞療養』を出版した。美人が多いことと女性が働いているのを目の当たりにしたとして、新潟女性の働きぶりを紹介している。



講演する伊藤充さん

このように、新潟県の女性は「たくましく、よく働く」。2010年の共稼ぎ率でも、約65%で全国6位である。

それに加え、1996年の調査では、「男女のどちらが優れているか」という設問に、74%の新潟県女性が「どちらともいえない」と回答している。他の都道府県に比べて、「自立心が強い」といえる。

新潟県の女性はしつかり者が多く、自立的で、男性、特に長男を保護し、育てて来た。

○変わる男性と女性の県民性

「時代遅れの服を着ていても気にならない」

人の割合が1976年、1998年には全国7位であった新潟の女性。しかし、2017年では割合は大きく変化して来ている。

新潟県の女性はこれまで長男を世話して育てるマネージャー的役割を果たしてきた。

しかし、これからは、時代が求める気質を培うことが大切である。プレイヤーとして生きることが求められている。

○質問タイム

フロアーから「新潟県の女性は自立性が高いと言われるが、本当でしょうか」、「若い人はいい意味での県民性を伸ばせるでしょうか」、「県民性という言葉を使う場合、注意しなければいけないことは、何でしょうか」などが出されました。伊藤さんからは「新潟県の離婚率が低いのは、女性が我慢するだけでなく、わかっていて離婚しないのです。精神的に自立しているからです。」「自分の県の県民性についていうのはいいけど、他県のことを言う場合は注意が必要です」などと、質問に丁寧に答えていただきました。

データと文献で新潟の女性を分析し、聞く人にわかるように具体例を示し、聞く人の考える速さで語る素晴らしい講演でした。

(文責 米山忠彦)

支部からのたより

今だからできること



糸魚川支部 副支部長
藤田 衛

新型コロナウイルスが流行して3年になる。全国的に活動、外出等が自粛された。当支部の活動も休止状態である。

このような状況下でも、当支部が継続して取り組んできた活動がある。それは、支部だよりを通して「会員の声」を伝える活

動である。コロナ流行前から、支部活動に参加できないが、会員の現況を知り、自分の励みにしているとの声が寄せられていた。ここ3年間の「会員の声」には、コロナ下での日々の生活や活動についての内容が多く寄せられた。人との交流は制限されたが、仲間の情報を得て励まされた人も多いのではと思う。

ようやくこのような状況にも終わりが見え始めた。令和元年度、当支部で開始した活動、地区別「茶話会」の再開に向け動き出した。まだ気は抜けないが準備をしたい。

ないが、どうするか」というものだった。

その時、楽太郎（当時）さんの講演会をセットしてくださったSさんがこう言った。

「書記長、私も行くから長岡駅のホームまで誰か迎えに行かせなさい」その危機管理と決断力に驚いた。おかげで、開始時刻は遅れたものの、講演会は無事開催できた。

どんな内容だったか不思議と思いつけな。しかし、会場体育館に大きな拍手で迎えられたときの、あのちよつぱりニヤツとした笑顔？だけは鮮明に覚えている。

楽さんの訃報から



柏刈支部 副支部長
吉田 存 祐

楽さんには、30年ほど前、柏刈支部の教研集會でご講演いただいたことがある。

開會式を終えた頃、マネージャーから電話（会場校會議室設置の特設電話）が入った。「架線の不具合で新幹線のダイヤが乱れている。乗ったらもう師匠と連絡は取れ

豪農の館「椿寿荘」



三南支部
樋浦 貞 吉

椿寿荘に勤務して7年目。原田卷家は江戸末期、田畑およそ1300町歩、小作人2800人近くを抱えていた。

当時日本三大名人の一人、富山・井波の宮大工、松井角平に依頼して建てられた。大正3年に着工し、7年に完成。建物は木曾檜を使った重厚な寺院様式で、随所に銘木が使われている。樹齢800年以上の会津櫟を使った玄関と露縁。菊を透かし彫りにした欄間の楠の一枚板。圧巻は露縁の庇の桁に使われた約20mの吉野杉。船に見立てた奥の間は高床式で、座敷からは枯山水の庭園を眺められる。庭には五重塔があり、仏教世界の「須弥山」を表現している。中国では古来「椿」を不老長寿の靈木としており、その故事にならっていつまでも後世に残そうと「椿寿荘」と命名された。



凧に湧き立つ



新潟五泉支部 副支部長
長谷川 文充

新潟市南区の名物は、何と云っても250年の歴史をもつ白根大凧合戦だ。中ノ口川を挟み、東西に分かれて大凧（オオイカと地元の古老は云う）を揚げ、空中で凧綱を絡めて切れるまで引き合う男の意気が湧き立つ勇壮な合戦だ。大凧は東西で作りが違う。凧揚げでは

合戦にならないからだ。東軍は凧綱を引くと川面を滑るように西側にせり出し、西軍は高く揚がった所で左回転し真つ逆さまに突き刺すようにかぶり凧綱を交差させる。それを可能にする鼻緒の立て方と骨組は各組の秘伝である。交差した後は泣き別れないように巧みに大綱を操り引場へ。さあ合戦だ。

初夏。町内の至る所で独特の仕草で大凧の鼻緒を立てる姿が見られ、大凧一色に町が染まる。誇りに思う町の伝統行事である。

健康長寿を延ばしたい



西蒲・燕支部 副支部長
徳 永 和子

日本人の平均寿命は年々延びているが、健康長寿との差は大きい。私はできれば死ぬ直前まで元気で自立した生活を送りたい。そこで私が心がけていることは……

一、自分の身体を知り、無理しない

良いと言われる運動にいろいろ挑戦してはあちこち痛めてしまい医者通いになる始

末。今は、自分の身体の弱点を知り、無理しないで動いている。太り過ぎは改善したいが……。

二、ストレスを溜めない

実家の百歳の母を見習い、嫌な事も前向きに捉え、くよくよしない。寝て忘れる。

三、楽しく交流する

コミュニケーションは頭や心の健康に大事である。友人、趣味の会、新退教の会などで交流することは、私の元気の元である。

百歳までとは言わないが自立していきたい。

がんばれ後輩!



本部副執行委員長
石 津 真 澄
(上越市南川小)

7月の参院選では新退教のみなさんからのご尽力いただき、日政連国会議員古賀ちかげさんを誕生させることができました。ありがとうございます。一方、県内の古賀さん票は35%票と厳しい結果でした。現場は、欠員や代替不足が常態化しています。実態に沿った施策実現に向け、日政連議員等と連携し、政治革新を進めていきます。



新潟市支部執行委員長
野 上 丈 成
(新潟市木戸小)

「私は、この石鹸はいい。この石鹸を買うのであれば、組合費を安くしてほしい」と言われました。私は「この石鹸は、人にも環境にも優しい石鹸だ。新教組は、環境にも目を向けてもらいたいと考えて、渡している」と返しました。理解を示してくれたようでした。今後、「目的や理由」を丁寧に説明し、「理解と納得」を得られるように努めていきたいと思えます。

がんばれ新教組!

こんにちは 新教組です

目退教 組織代表者会

新退連 年次大会



6月9日、日退教(日本退職教職員協議会)は組織代表者会を日本教育会館で開催し、本年度の当面の活動(案)等が承認された。

スローガン「21年決定」

□東日本大震災・福島第一原発事故を風化させず、被災者・被害者の生活支援打ち切りを反対し、国・企業の責任を追及しよう。原発再稼働・原発輸出に反対し、脱原発社会をめざそう。核兵器禁止条約の早期批准をめざしとりくもう。

□社会保障制度の改善・充実を求めよう。安心な医療・介護共生社会をめざし、地域包括ケアシステムの充実を求めよう。格差社会の是正をめざしとりくもう。

□セクハラ・パワハラを許さず、ジェンダー平等の社会、人権が尊重され、差別や偏見のない社会、子どもたちの豊かな育ちを保証する社会をつくろう。

□各単会の運動に連帯し、支えあおう。会員の交流と親睦を深め、生きがい活動にとりくもう。東アジア各国との連帯・交流をすすめよう。阻止拡大と財政確立、日教組退職者組織の統一をめざそう。



7月20日、東映ホテルにて、新退連(新潟県退職者連合)の年次大会が開かれ、前年度の活動報告や今年度の運動方針等が承認された。

県への要請行動(報告より)

2021年11月24日、新退連は樋口県会議員同行のもと県福祉保健部長に要請行動を行った。

① 医療計画・医療提供体制

厚労省から病院の再編・統合要請がなされているが、県の具体的医療体制案を県民に丁寧に説明されたい。また、中山間地の医療体制確保に向け万全を期していただきたい。

② 在宅医療・介護体制の確立

可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるよう、介護と医療の整合性を確保しながら、地域包括ケアシステムの充実を図っていただきたい。

③ 新型コロナウイルス感染症対策

全国的には保健所・感染症病床等の脆弱化が指摘された。今後に備え、保健所等の組織体制の充実を図っていただきたい。

こんにちは 新教組です

がんばれ後輩!



長岡支部書記長

清水賢志

(長岡市前川小)



魚沼支部書記長

大塚貴央

(魚沼市堀之内小)

長岡支部は、長年活動の拠点であった教育会館の建替に昨年度から着手しました。お近く11月末に無事工事が完了しました。お近くにおいでの際は是非ともお立ち寄りください。教育現場は、新型肺炎禍における対応や代替職員の不足など多くの課題と向き合いながら、子どもたち・教育を守ろうと頑張っています。教職員が生き生きと前を向いて働き続けられるよう全力で支えていきます。

魚沼支部が統合し、5年目を迎えました。感染症禍であっても活動を閉ざさず、広域となった支部の組合員が参加しやすいようオンラインでの会議・集会を整えました。来年度から始まる定年引上げや新たな研修制度など課題が山積していますが、組合員一人ひとりに寄り添い、声を届けていけるよう取り組んでまいります。

がんばれ新教組!

★「30人以下学級…請願署名」ありがとうございました

11/11現在、新退教では1968筆集まりました。この署名を含め数万筆の署名を添えて、「教育をよくする県民会議」は12月県議会に「30人以下学級実現・教職員定数増・教育予算増額を求める請願書」を提出します。ご協力ありがとうございました。

★ことぶき講座ご案内

2/15 (水) 申告しよう 確定申告、市・県民税

(13:30~15:30、新教組会館、申込は5日前までに新退教へ)

★「2022年豪雨等 被災会員支援カンパ」にご協力を (~2023.2.20までに)

今年の豪雨や台風で全国的に大被害が生じました。県内でも「8.4県北豪雨」で新退教会員6人が被災しました(床上浸水2,床下浸水4)。全国&県内の被災会員支援に取り組んでいます。ご協力をお願いいたします。届け先 新退教各支部へ

(注) 新退教本部へ直接払い込む場合は下記

金融機関 ゆうちょ銀行(郵便局にある払込取扱票で)

口座名称(漢字) 新潟県退職教職員連絡協議会

口座名称(カナ) ニガタケンタイシヨクキョウシヨクインレンラクキョウキカイ

口座番号 00550-8-53677

(注)「ご依頼人」は「氏名(〇〇支部)」と支部名も明記

★9月14日(水)、新宿文化センターで退職者連合高齢者集会有りました。

講演「ちょっと気になる社会保障」慶応大学教授の権丈善一さん。

また、翌日の9月15日(木)には、日本教育会館で地公三単産・地公退高齢者集会有りました。

記念講演「沖縄復帰50年」、沖縄国際大学大学院教授の前泊博盛さん。

★10月7日(金)、新教組会館で、国際基督教大学の川島重成名誉教授の講演があり、参加者は楽しく聞き入りました。(新退教「ことぶき講座」)

講演「古代ギリシャ文化への招待

歴史・風土・神話・ドラマ」



★10月13日(木)、都内のラポール日教済で五者合同学習会がありました。

講演「介護保険制度の問題点と今後の課題」オフィス・ハスカップ主宰の小竹雅子さん

講演「日本国憲法、なぜ改悪を許してはならないか」学習院大学教授の青井未帆さん

子どもたちの未来を応援



一般財団法人未来応援奨学金にいがた

理事長 高井 盛雄

教職員の皆様とのご縁をいただいた県教委時代から7年。今回こうして、拙文を掲載させていただけることに感謝申し上げます。

コロナ禍、物価高騰でより深刻となつていく貧困問題に少しでもお役に立てればと思いで、本年5月にひとり親家庭等を対象とした給付型奨学金支給の財団を立ち上げ、資金の募集活動を行っています。

人口減少が進み社会を支える人材が不足することが現実といわれる将来に向けて、向学心に満ちた子どもたち、さらに向学心を持つことさえ諦めかけている貧困家庭の子どもたちを応援して、一人でも多くの若者が希望する未来を描けるよう背中を押ししたい、そんな思いがこの事業の原点です。かの渋沢栄一翁の言葉から命名したこの「しずくプロジェクト」。善意のしずくが集まればやがて大河となつて大きな力となり、貧困の連鎖にブレーキを掛ける一助となれます。

新退教会員の皆様の温かいご支援をよろしくお願ひします。

こちら「未来応援奨学金にいがた」です

教職員共済「医療共済」

「新型コロナウイルス感染症に罹患し、医師の指示による自宅・宿泊施設での療養も医療共済の対象となる」は、2022年9月26日以降、「重症化リスクの高い方のみの適用」へと変更になった。

みんなの広場



情報の価値とは？

山上オクラ

デジタル化・情報化の急進に伴い、リスクや不安も増大していることは周知の通り。道端のスミレやツクサは名前や姿が急変することは少ない。一方で、昨今の情報はコロナと変化し、フロッピーディスクは百年もたずに姿を消した。磁気だけに直に……。自然界や動植物等の知識（情報）は、身に付けば一生涯の教養となり、まさにSDGs。システムトラブル（通信障害等）の度にそう思う今日この頃である。

温泉と山旅

山じい（篠沢講）

火山国の日本は温泉に恵まれ、山麓には多くのいで湯がある。登山後、温泉につかり、心地よい疲れとともに一日の山旅に想いを馳せるのも山の楽しみである。月山と肘折温泉も楽しんだ山旅の一つだ。

月山はこれまで何度か登っているが、肘折コースは、下山だけでも10時間かかることや交通の不便さもあって歩いてこなかった。



八ヶ岳 本沢温泉にて

初秋、八合目登山口まで送ってくれる仲間を得て、山頂に向かう。少し早い草紅葉を楽しみつつ肘折コースの念仏避難小屋に一泊する。下山後は肘折温泉に泊まり、登山の疲れを癒した。山と温泉は相性が良い。

【ミニ情報】



◇会員夫妻の「ぎやらりー浜つばき」(0256-772013土日月) 12/3〜19めでたのねんどーねんど母さん縁起人形展1、1/7〜23山の古書フェア(展示販売)、2/4〜20石田一平作陶展、3/11〜27彫金・鍛金「田公堂」金工親子4人展

◇人権問題に取り組み「佐渡扉の会」は、2017年、在日のSさん(当時94歳)から佐渡鉢山の朝鮮労働者について話を聞いている。Sさんは1940年に佐渡に来て鉢山の労務関係に就き、通訳として韓国に募集に行った。Sさんによれば、1943年までは募集(ただし、逃亡阻止のため特別

列車に乗せた)であり、1943年からは徴用で、拒否すれば連行したので「強制連行」といえばこの期間とのこと。(新高退通信E1015より抜粋要約)

◇帝国データバンク新潟支店の本年7月調査によると、県内企業管理職に占める女性の割合は、全国で3番目に低かった。建設業が多い本県では、建設業で女性管理職の割合が低いことが県内企業全体の数値を左右しているとのこと。

(トップ3) ①山梨県139%、②奈良県131%、③三重県128% ワースト3 ①佐賀県56%、②石川県72%、③新潟県74%

□世界経済フォーラムの2022年版男女格差(ジェンダー・ギャップ)報告で、日本は116位だった(146カ国中)。政治と経済両面で女性進出が低調である。

□OECD(経済協力開発機構)は、各国の2019年の国内総生産(GDP)に占める「小学校から大学に相当する教育機関向けの公的支出割合」を調査。比較可能な37カ国中日本は2番目に低かった(28%)。最高はノルウェーの64%、平均は41%、他は米国41%、韓国40%。

あとがき

ウクライナに一日でも早く平和を！(山岸)

